

佐野市長に景観政策を提言

平成29年3月22日(水)、佐野市役所大会議場において、佐野市「まちづくり景観講演会」が行われ、SGH地域課題研究の「まちづくり・コミュニティ」領域からのグループが、1年間の研究成果をプレゼンするとともに、若者の視点から考えた景観行政について提言しました。

「まちづくり・コミュニティ」領域を代表して、野原悠以さん、岩本舞佳さん、金原脩人さん、齋川晏慈さん、田中空乃さんのグループが提言しました。



☆岡部正英・佐野市長に提言書を直接手渡しました。

☆提言内容は、佐野市景観審議会の中で、実際に反映されます。

☆発表の様子やインタビューなどは、3月28日(火)18:00から『さのニュース』(佐野ケーブルTV)で放映されます。

<インタビューの内容から(さのニュース)>

- ・「まちづくりのキーワードは、**若者と外国人**です。若者や外国人観光客が大好きなSNS発信ができる、SNS映えするような景観環境が一つのポイントです。」(野原さん)
- ・「何も知識のないゼロから、景観行政についてフィールドワークを重ねてきました。確信したのは、まちを良くするための**目の付け所はたくさんある**、ということです。」(岩本さん)
- ・「自分は先進事例の情報収集を分担しました。今後はさらに足を伸ばし、先進事例を深く調査したい気持ちがあります。SGHは**自由に何でも調べられたのが楽しい**。」(金原さん)
- ・「若者の視点からまちの景観の工夫を考えていくのが楽しい。**高校生のアクション**が、実際に社会や行政を変えていける、という手応えが一番うれしい。」(田中さん)
- ・「1年間という長期間にわたって、こんなに研究したことは今までありませんでした。ただ住んでいただけの佐野が、**自分達で作っていける佐野**になった気がします。」(齋川さん)

☆三橋伸夫先生(宇都宮大学教授・副学長)からは、「宇都宮大学が目指している学生像を、先に高校1年生が実践した。2年後は是非、うちの大学に来て欲しい。」とエールを頂きました。



都市建設課の上三川さん、野城さんには全面的なご助言・ご協力を頂きました。